



Photo by Clint Randall

ゴ布林博士が
やってくる！

ゴ布林がくっついた？！



病院の
アートって？



筑波大学芸術と職員の交流会 第5弾

はじけるカフェ

5月17日（火）18:00—19:30

@1号棟3階 職員休憩室



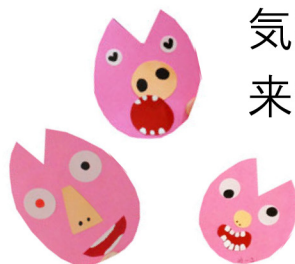
Photo by Clint Randall



芸術の学生って
どんな感じ？



医療者って
どんな感じ？



気軽に
来てください！



18:00-

ゴ布林博士ワークショップ「ゴ布林をつれていこう！」

18:30-

職員紹介「TMC48 恋するフォーチュンクッキー」上映

アート・デザイン活動の紹介／「核医学検査 待合室『空あかりうむ』」

「紡ぎの庭の活用と課題」など

19:00-

ゴ布林博士ワークショップ「ゴ布林をつれていこう！」／フリーディスカッション

軽食をご用意
しています！



Photo by Clint Randall

ゴ布林博士とは？

小中大地（こなかだいち）：アーティスト、イラストレーター。
2011年 筑波大学大学院人間総合科学研究科 博士前期課程 ビジュアルデザイン領域 修了。現在、博士後期課程在籍。日常の物や環境をキャラクター化し、ゴ布林（いたずら好きの妖精）を制作。

アートカフェとは？ 当院のアート活動とは？

筑波大学の芸術と病院が協働で行っているアートやデザインによる環境改善の取り組みは10年目になります。2012年からは両者の交流を活発にするために「はじまるカフェ」を実施し、「ひろがるカフェ（2013）」「つながるカフェ（2014）」「ふかまるカフェ（2015）」と名前を変えながらこのカフェや活動は成長してきました。今年度は思いっきりアートに触れてワイガヤできるように「はじけるカフェ」を開催します！